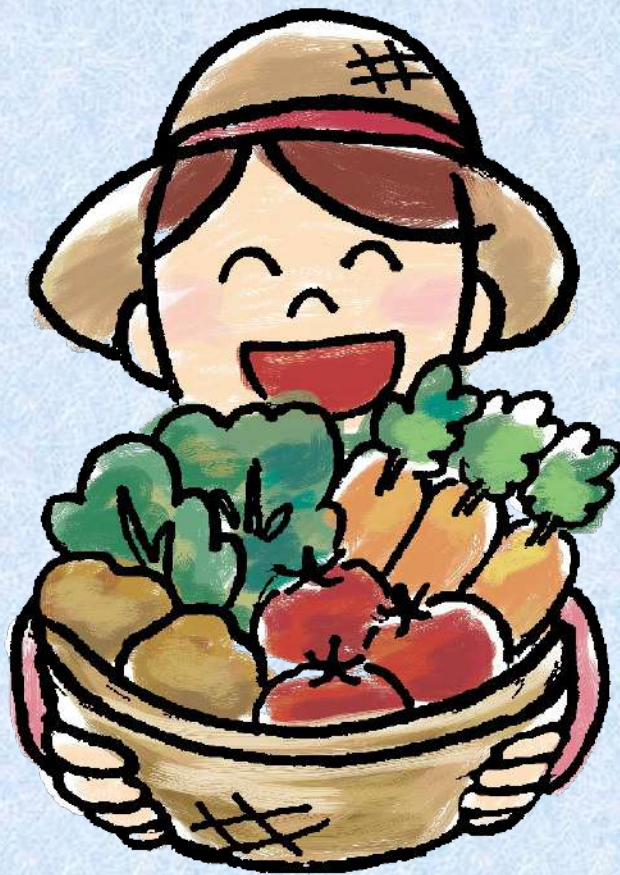


実証実践農家の取り組み報告
土壌分析結果の報告と解説
施肥設計にどう活かしているのか



参加費無料

先着

35名様

有機栽培が未経験の方
もお気軽にどうぞ！

相模原市 有機栽培技術勉強会 + 圃場視察会

土壌分析の活かし方

～土壌分析データと共に一年を振り返る～

人参の有機栽培に取り組む実証圃場を題材とした勉強会です。前半は実証圃場の視察もおこないます。有機栽培が未経験の方でも、お気軽にお申し込みください。

日時

2024年2月27日(火) 13:00～16:30

前半:圃場視察会 13:00-14:45 後半:勉強会 15:00-16:30

会場

市立青和学園体育館2階ミーティングルーム(緑区青野原1250-1)

※前半の圃場視察会は、相模原市緑区内の実証圃場を巡回します。

お申し込み

右記の二次元バーコードよりフォームに必要事項をご記入のうえ、お申し込みください(定員35名・先着順)



終了後に「古民家カフェ雅」にて、お茶会を開催します
※お茶代500円 2月21日(水)までにお申し込みください。

土壌分析の活かし方 土壌分析データと共に一年を振り返る

1月に実施した減肥栽培の勉強会に続き、最終回となる今回は「土壌分析の活かし方」をテーマに、2名の市内生産者から実証圃場の1年間の取り組み報告を共有していただきます。

土壌分析結果の報告と解説に加え、それを施肥設計にどう活かしているのかも伺っていきます。また、終了後は会場すぐ近くの「古民家カフェ雅」にて、ささやかなお茶会も開催します。



吉見 敦司 氏

大学卒業後、愛知県の農業生産法人で主にトマト栽培に携わる。2007年に相模原市緑区青根にて新規就農(17年目)。栽培面積は、施設野菜(トマト)20a、露地野菜(ニンジン、コマツナ、ホウレンソウ等)1.5ha。

「厳選した有機肥料とミネラル肥料を使って、作物が健康であることを大事にしています」



春田 耕平 氏

大学卒業後、国際農業者交流協会海外研修を経て、山梨県の農業生産法人で主に露地葉物野菜栽培に携わる。2009年に相模原市緑区长竹にて新規就農(15年目)。栽培面積は、露地野菜(葉物野菜+季節の野菜)2ha。

「ミネラルを利かして、美味しく健康な野菜を作ることを心掛けています」

終了後にはお茶会も開催します

交流や情報交換の場として、お気軽にご参加ください♪



会場：古民家カフェ雅 (緑区青野原997)

- ・勉強会の終了後16:45頃より開始予定
- ・お茶代500円 (参加は任意です)
- ・2月21日(水)までにお申込みください。



主催

相模原市

企画

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

【セミナーに関するお問合せ先】一般社団法人 次代の農と食をつくる会
〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-1 東京農村4F
電話: 050-5375-8260(事務局 平日10-17時) info@jidainokai.com

本事業は令和5年度 農林水産省 有機農業産地づくり推進事業を活用し実施しています。